

熊本県教育委員会の点検及び評価報告書（令和元年度対象） 概要

1 報告書について

- 本県教育行政の効果的な推進、県民への説明を目的に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定に基づき、県教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を実施した。

2 報告書第1部 教育委員会の活動状況

- 教育委員会（教育長、教育委員5名）は、会議や学校訪問等を実施した。
 - 会議の開催（定例会 12回）
 - 学校等訪問（八代農業高校）
 - 学校行事への出席（湧心館高校、熊本はばたき高等支援学校）
- 教育委員会の活動内容について、マスコミへの情報提供とともに、広報誌やホームページ等を活用して情報発信を行った。

3 報告書第2部 「第2期くまもと『夢への架け橋』教育プラン」に関連する教育施策の実施状況

- 「第2期くまもと『夢への架け橋』教育プラン」で設定している全35の指標のうち、19指標で目標を達成した（目標達成率54.3%）。目標を達成していない16指標については、引き続き目標達成に向け、課題への対応を進める。

※第2期プラン中、重点的に取り組む事項については、「夢を叶えるミッション」として11項目を掲げており、当該事項の指標については、“★”で表示した。

4 今後のスケジュール

- 7月30日 第2回第3期熊本県教育振興基本計画検討・推進委員会にて有識者から意見聴取
- 8月4日 定例教育委員会にて最終評価
- 9月議会 報告
- 議会後 県教育委員会ホームページにおいて公表

5 主な取組、課題について

主な取組	課題等
【基本的方向性1】家庭や地域の中で、「生きる力」の基礎をはぐくむ	
<ul style="list-style-type: none"> ・「親の学び」講座を市町村と連携し、県内全域で実施。 ・基本的生活習慣の育成に関する啓発資料を県内すべての認定こども園・幼稚園・保育所・小中学校へ配布。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親になって間もない保護者が多い、就学前施設での「親の学び」講座の拡大に引き続き取り組む必要がある。 ・子供の就寝時刻が家族の生活時間に影響されている。
【基本的方向性2】自他の命を大切にする心や、人権を尊重する態度をはぐくむ	
<ul style="list-style-type: none"> ・心のアンケート等を実施し、いじめの積極的な認知に努めた。 ・スクールカウンセラー（67人）、スクールソーシャルワーカー（21人）を配置し、連携して対応した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員のいじめに対する基本認識の更なる向上が必要。 ・学校単独で解決が難しい問題について、SC、SSW、児童相談所等関係機関との一層の連携が必要。
【基本的方向性3】確かな学力、豊かな心、健やかな体など「生きる力」をはぐくむ	
<ul style="list-style-type: none"> ・民間のノウハウを活用した県学力・学習状況調査の実施。 ・「熊本の心」の映像資料に授業で使える画像資料等を加えたDVDBOXを作成し、県内全ての小中及び特別支援学校等に配布。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国や県の学力調査を起点とした、学力向上に向けた検証改善サイクルにより授業改善を推進する必要がある。 ・道徳科の授業公開を進め、家庭地域と一体となった道徳教育の推進を図る必要がある。
【基本的方向性4】障がいのある幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応える	
<ul style="list-style-type: none"> ・個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成等について、年間を通じての指導の改善・充実が図れるよう周知した。 ・熊本はばたき高等支援学校はR1、9月竣工。鏡わかあゆ高等支援学校は一部工事に着手し、かもと稲田支援学校は校舎設計を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進学・就学先への引継ぎにおいて、個別の教育支援計画が十分活用されていなかった。 ・整備には一定期間を要するため、整備完了までに児童生徒が増加する場合は、仮設校舎等による応急対応も検討する必要がある。
【基本的方向性5】ふるさとを愛する心、国際的な視野、夢を叶える力をはぐくむ	
<ul style="list-style-type: none"> ・全県立高校（全日制）でのインターンシップ実施。 ・中学生の外部検定試験の受験料を補助する38市町村に対し、その1/3を補助。 	<ul style="list-style-type: none"> ・普通科生徒のインターンシップ体験率の向上が課題。 ・CEFR A1レベル（英検3級）相当以上を取得又は有すると思われる生徒の割合は前年度より0.3ポイント下回った。

【基本的方向性1】家庭や地域の中で、「生きる力」の基礎をはぐくむ

指標名	策定時 (H24)	目標値 (H30)	H30実績値	R1実績値	策定時比	達成
「くまもと家庭教育支援条例」の認知率(★)	21.5% (H25)	60%	23.2%	25.9%	↑	
夜10時前までに就寝する子どもの割合	73.6%	77.0%	74.2%	73.5%	↓	
学習機会や情報の提供等の親の学びを支援した幼稚園・保育所等の割合	93.6% (※参考 幼稚園のみ)	100%	100%	100%	↑	●

【基本的方向性2】自他の命を大切にする心や、人権を尊重する態度をはぐくむ

指標名	策定時 (H24)	目標値 (H30)	H30実績値	R1実績値	策定時比	達成
学校は楽しいと感じる児童生徒の割合(★)	小 92.8% 中 89.1% 高 88.1% 特 94.2%	向上	小 92.3% 中 90.9% 高 90.0% 特 90.4%	小 92.0% 中 90.5% 高 91.6% 特 91.8%	→	
不登校児童生徒の割合 (児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査結果)	小 0.18% 中 2.09% 高 1.89%	減少	小 0.45% 中 3.05% 高 1.62% (H29)	小 0.63% 中 3.55% 高 1.79% (H30)	↓	
10代の人工妊娠中絶実施率	0.98%	減少	0.60% (H29)	0.51% (H30)	↑	●

【基本的方向性3】確かな学力、豊かな心、健やかな体など「生きる力」をはぐくむ

指標名	策定時 (H24)	目標値 (H30)	H30実績値	R1実績値	策定時比	達成
全国学力・学習状況調査の平均正答率 ※小6 国語・算数の(A)知識・(B)活用 ※中3 国語・算数の(A)知識・(B)活用	5/8項目で 上回る (H25)	すべて全国 平均を上回 る	3/8項目で 全国平均以 上	1/5項目で 全国平均を 上回る	↓	
教科の学習が「好き」「分かる」児童の割合 (小学校3年生)	好き 75.9% 分かる82.4%	向上	好き 76.7% 分かる85.1%	好き 76.0% 分かる84.2%	↑	●
大学等進学率(★)	43.6%	47.0%	46.8% (H29)	46.5% (H30)	↑	
10 県立高等学校における大学等進学希望者の 進学率(★)	80.6%	83.0%	83.7%	84.2%	↑	●
11 「熊本の心」を活用した道徳の時間を地域 や保護者に公開した学校の割合(★)	小 90% 中 82%	小 100% 中 100%	100%	99%	↑	
12 1か月に1冊以上読書する児童生徒の割合	86.8%	90.0%	88.5%	91.1%	↑	●
13 新体力テストにおける体力合計点の平均点	45.81点	46点	46.81点	46.71点	↑	●
14 毎日朝食を摂る児童生徒の割合	86.6%	95.0%	80.5%	86.1%	↓	

【基本的方向性4】障がいのある幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズにこえる

指標名	策定時 (H24)	目標値 (H30)	H30実績値	R1実績値	策定時比	達成
15 高等学校において、学校が把握する発達障 がいの診断を受けている生徒についての個 別の教育支援計画作成率(★)	23.9%	60%	77.3%	72.9%	↑	●
16 熊本市及びその周辺部の特別支援学校にお いて不足する教室数	106教室不足 (H25)	89教室不 足	106教室不足	137教室不足	↓	

【基本的方向性5】ふるさとを愛する心、国際的な視野、夢を叶える力をはぐくむ

指標名	策定時 (H24)	目標値 (H30)	H30実績値	R1実績値	策定時比	達成
17 インターンシップを体験した高校生(全日 制)の割合	59.5%	70%	68.7%	70.2%	↑	●
18 英語が「好き」「分かる」生徒の割合 (★)	好き48.4% 分かる47.5%	向上	好き 48.1% 分かる50.9%	好き 55.2% 分かる60.0%	↑	●
19 海外高校への留学者数(★)	19人	100人 (H24~H27の 累計)	97人	112人	↑	

主な取組	課題等
【基本的方向性6】信頼される学校をつくる	
<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善に実績のある経営コンサルタント等をアドバイザーとして小中高校6校に派遣し、取組を支援。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長時間労働に従事している教職員が存在するため、実効性のある更なる取組が必要。
<ul style="list-style-type: none"> ・県内に地域学校協働活動推進員 165 名が配置され、246 小中義務教育学校がカバーされた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・CSと地域学校協働活動の一体的な推進のためには、全小中学校が推進員にカバーされる人員の確保が必要
【基本的方向性7】安全で、誰もが安心して学ぶことのできる環境をつくる	
<ul style="list-style-type: none"> ・県立学校施設長寿命化プラン（個別施設計画）案を取りまとめた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度中に県立学校施設長寿命化プラン（個別施設計画）を策定する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・未来の学校創造プロジェクトの研究指定校を中心に、タブレット端末等を活用した訪問支援などを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器が導入済だが活用が十分でない地域・学校や、新たにICTを導入した地域・学校への活用促進の支援が必要。
【基本的方向性8】高等教育を振興する	
<ul style="list-style-type: none"> ・高大連携協力協定に基づき、SGH、SSH等における特別講義や指導助言等の協力を得た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学の講義等を高校生も受講できるような取組の可能性について検討する。
【基本的方向性9】生涯学習を推進する	
<ul style="list-style-type: none"> ・県生涯学習推進センターHP（学びネットくまもと）を運営し、県内各機関の学習機会情報、資格試験等情報を県民に提供。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学びネットくまもとの広報及び利活用の周知が必要。
【基本的方向性10】熊本の文化を守り、磨き上げる	
<ul style="list-style-type: none"> ・文化財を活用した出前授業、移動体験教室等を開催し、文化財を守り、後世に伝える意識醸成を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出前授業等は好調に推移し、依頼も多いことから、可能な限り対応する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・被災した歴史的建造物について、全80件中50件の復旧完了。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国、県指定、国登録の被災文化財の2割は被災が大きかったことや工法検討が必要のため、復旧に期間を要する。
【基本的方向性11】スポーツに親しむ環境をつくる	
<ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブ育成を目的とした研修等を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブの更なる設置促進と加入者の増が必要。
<ul style="list-style-type: none"> ・ラグビーワールドカップと女子ハンドボール世界選手権大会において、一校一国運動等を推進した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際理解の向上や競技振興を図るとともに、東京2020オリンピックに係る取組の充実を図る。

【基本的方向性6】信頼される学校をつくる

指標名	策定時 (H24)	目標値 (H30)	H30実績値	R1実績値	策定時比	達成
20 学校改革に取り組んだ学校の割合	—	100%	100%	100%	↑	●
21 コミュニティ・スクールの数(★)	24校	60校	108校	164校	↑	●
22 学校を支援するボランティアの数(★)	61,051人	76,000人	99,624人	130,953人	↑	●
23 スーパーティーチャー(指導教諭)の導入(★)	—	導入	県立学校に 12名配置	県立学校に 13名配置 市町村立学校 に5名配置	↑	●

【基本的方向性7】安全で、誰もが安心して学ぶことのできる環境をつくる

指標名	策定時 (H24)	目標値 (H30)	H30実績値	R1実績値	策定時比	達成
24 生活保護世帯の高等学校進学率(★)	94.6%	98.9%	94.7%	精査中		
25 県立学校の耐震化率	93.1%	100%	100%	100%	↑	●
26 市町村立学校の耐震化率(参考)	94.4%	100%	100%	100%	↑	●
27 私立学校の耐震化率	62.5% (H25.4.1)	75% (H28.4.1)	90.5% (H31.4.1)	精査中		●
28 ICTを活用して指導できる教員の割合(★)	69.7%	100%	84.0% (H29)	80.0% (H30)	↑	

【基本的方向性8】高等教育を振興する

指標名	策定時 (H24)	目標値 (H30)	H30実績値	R1実績値	策定時比	達成
29 県と高等教育機関の連携した取組数	49件	着実な増加	60件	精査中		

【基本的方向性9】生涯学習を推進する

指標名	策定時 (H24)	目標値 (H30)	H30実績値	R1実績値	策定時比	達成
30 くまもと県民カレッジ連携機関数	59機関	200機関	228機関	248機関	↑	●
31 県立図書館利用者数	328,653人	330,000人	283,909人	242,372人	↓	
32 青少年教育施設利用者数	159,334人	166,000人	181,690人	168,793人	↑	●

【基本的方向性10】熊本文化を守り、磨き上げる

指標名	策定時 (H24)	目標値 (H30)	H30実績値	R1実績値	策定時比	達成
33 細川コレクション永青文庫常設展示室入場者数	42,638人	45,000人	52,570人	20,709人	↓	
34 文化財を活用した学習活動への参加者数	3,130人	5,000人	7,934人	10,096人	↑	●

【基本的方向性11】スポーツに親しむ環境をつくる

指標名	策定時 (H24)	目標値 (H30)	H30実績値	R1実績値	策定時比	達成
35 スポーツ実施率 (週1回30分以上運動する割合)	53.1%	65%	55.5%	県民アンケート にて調査予定		